

いちのぼら

市野々原地区の河道閉塞箇所（天然ダム）対策工事が本格化！！

砂防災害課

平成 20 年 6 月 14 日に発生した岩手・宮城内陸地震により発生した一関市市野々原地区の河道閉塞箇所（天然ダム）の対策工事が国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所により進められています。

地すべりにより河道に崩落した土砂を撤去する方法は、地すべりの再滑動を招く恐れが高いことから、左岸側に河道を付替える計画としており、現在、河道掘削に先立って国道 342 号の付替え工事が実施されています。間もなく本格的な河道掘削に着手する予定で、平成 22 年 2 月には河道断面が確保される見込みとなっています。

右岸側の地すべり箇所では、林野庁による対策工事も進められており、工事が輻湊するなどの厳しい現場条件ですが、平成 21 年度から新たに創設された直轄特定緊急砂防事業も導入され、震災後の恒久的な土砂災害防止に向けた対策工事が着実に進められています。

国道342号の付替工事



工事中仮設橋梁

